

令和元年度 地域元気プログラム活用研修② 実施報告

実施日：令和元（2019）年7月24日（水）

○講話・演習「ファシリテーションの技術を学ぼう」

宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏



石井先生は、宇都宮大学において、まちづくり論やNPO論、地域プロジェクト演習などの科目を担当されています。

お昼を挟んでの講話・演習は、自らの御経験を踏まえ、ユーモアも交えながら進められ、あっという間でした。受講者からは、「参考になることが多かった」「たくさんの学び、気づきがありました」などの声が寄せられました。

前半は、安心できる対話の場づくりや、バリアフリーデザイン思想、地域活動参加の有意性を持つ因子についてなど、ファシリテーションについて様々な切り口でお話いただきました。ファシリテーターとしてだけでなく、地域活動を盛り上げていく上でも必要な視点がたくさんあり、気づきの多い内容でした。

続いて、「上手なファシリテーター」とはどのような人なのか、班で協議しました。各班とも自分たちが協議した内容をふりかえりながら、ファシリテーターについての考えを深めることができましたようです。

後半は、講義やワーク「こんなときどうする。ファシリテーションQ&A」を通して、ファシリテーションの機能や役割、コミュニケーション術を学びました。想定される様々なケースへの対応を考えることで、ファシリテーターとして持つべきスキルを捉えることができましたようです。



【受講者の感想から】

- ・ファシリテーターの理論やスキルの細かいところまで教えていただき、本当に勉強になりました。特に、「今がチャンス」という言葉を聞いて、いろいろな場に出向き、チャンスをつくっていきたいと思いました。
- ・何か新しいことをやるのではなく、人のつながり、交流をつくるお手伝いをするということをきちんとやっていきたいと思いました。
- ・自分の地域で実践できるようになったらいいと思います。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp